

「瀋北新区戦略発展サミットフォーラム」 報告

ERINA調査研究部研究員 朱 永浩

2007年6月4日、中国遼寧省瀋陽市の瀋陽賓館において「瀋北新区戦略発展サミットフォーラム」(Summit Forum on the Strategic Development of Shenbei New District)が開かれた。遼寧省対外貿易経済合作庁、瀋陽市瀋北新区人民政府が主催した今回のフォーラムには、中国国内各界の代表はもとより欧米、日本、韓国、東南アジアの政府官員・専門家・企業代表の約300名が一堂に集った。ERINAから鈴木伸作特別研究員と筆者が参加した。

瀋陽市区の北部に位置する瀋北新区は、上海浦東新区、天津濱海新区、鄭州鄭東新区に次ぐ中国の4番目の新区として、2006年10月に中央政府に認可された。瀋北新区の面積は1,098km²、主として新城子区と蒲河新区からなる(図参照)。

サミットフォーラムのプログラムは、瀋陽世界園芸博覧園の見学、瀋北新区の視察から始まり、基調講演を経て、日本、韓国と香港の専門家による招待講演で幕を閉じた。

基調講演に先立ち、中国商務部部長助理・王超氏、遼寧省人民政府副省長・李万才氏などの政府要人から挨拶があり、瀋北新区開発の必要性和ポテンシャルを強調した。その後の基調講演で瀋北新区人民政府区長・蹇彪氏は、瀋北新区開発のマスタープラン、人材育成・雇用対策、社会保障政策を概説し、瀋北新区の将来像について「全国最大の農産品加工基地」、「北東アジアのイノベーション基地」、「東北地区における最も魅力のある自然調和の暮らしやすい都市」となることを力強く宣言した。

図 瀋北新区の位置



(出所)「瀋北新区の投資指南」

講演会の後半では、江原規由氏（日本貿易振興機構企画部事業推進主幹）、俞在賢（韓国明知大学教授）、細井靖氏（日中投資促進機構事務局次長）、金龍氏（香港天宝集団副総裁）の4名が、パネリストとして瀋北新区開発の可能性、都市建設、対中投資・貿易等をテーマに報告を行った。特に、江原氏は環境対策として、瀋北新区周辺に駐車場の整備や新区での燃料電池車、そして自転車利用の奨励を提案したところ、フロアからは頷いた反応が多かった。さらに同氏の報告では、瀋北新区の他に遼寧省が推進する「五点一線戦略」の意義についても触れ、同戦略が進展すると遼寧省の沿海部は、北は東北地区を經由して欧州に連結し、南は環渤海経済圏の一翼を成すことになり、将来的には日本の新潟港まで繋がってほしいと提唱した。

今回のフォーラムは、各国から有識者が集まったにもかかわらず、パネル報告後の質疑応答時間を設けておらず、十分な意見交換ができなかったという課題も残ったが、国内外に瀋北新区をPRする良い機会となったと言えよう。